

平成30年度 NIE実践研究について

越前市南中山小学校

本校は、平成30・31年度の2年間「NIE実践校」の指定を受け、取り組みを進めている。以下、その取り組みについて報告する。

1. テーマ

「親しみ・かかわり合う・つながる」 NIE実践を通して

2. テーマ設定の理由

今年度、本校の研究主題は「主体的・対話的で深い学びとなる授業の工夫 ～伝え合う力を高める～」である。その主題を実現するために、以下の3つの研究目標を設定している。

- | |
|--|
| ①「伝え合う力」を高めるため、授業のあり方を研究する。 |
| ②「 伝え合う力 」を高める新聞の利用法について研究する。 |
| ③「考え、議論する」道徳について研究し、その中で「伝え合う力」の育成を図る。 |

特に②については、本年度より2年間、NIE実践指定校となったこともあり、新聞を活用することを通して、積極的に他者と関わっていく子の育成を学校全体で目指そうと考えて設定した。

3. 研究を進める上での工夫・配慮

「新聞活用の日常化」「NIE活動のカリキュラム化の推進」に向けて、具体的に、以下の7つを計画し実行したいと考えた。

① 学年ごとの研究目標の設定

低学年	「新聞とかかわろう」
中学年	「新聞を読んで考えよう」
高学年	「新聞を読んで、深めて伝えよう」
特別支援学級	「新聞を使おう」

② NIEアンケートの実施

③ NIEコーナー・新聞コーナーの設置

④ NIEタイムの設定

⑤ 児童会活動での新聞活用

⑥ NIE実践の記録（実践記録及び年間指導計画への位置づけ）

⑦ 研修会の実施

4. 本年度の実践について

1年 体育 「しんぶんしつかいのたつじんになろう」

1枚の新聞紙を使って、さまざまな運動ができるようにし、楽しい動きをする中で、新聞の特性に気づくことをねらった。また、「新聞紙使いの達人になろう」という学習カードを配布し、1枚の新聞紙を使って、以下のような順で運動を進めていった。

- ①新聞紙のまねをしよう ②新聞ダッシュ



- ③新聞ダッシュでリレー ④新聞キャッチ
 ⑤新聞手合わせずもう ⑥ジャンケン新聞乗り

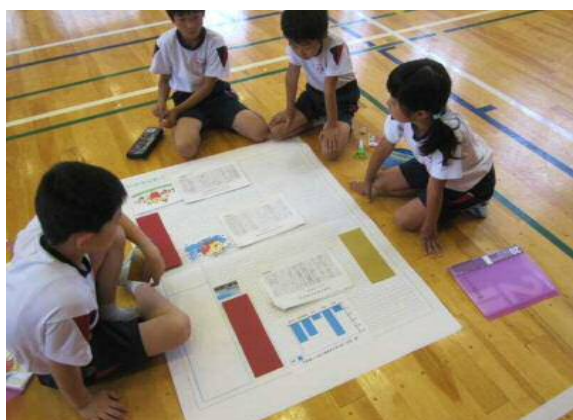
新聞を使って、様々な運動ができて、児童は飽きることなく、体全体を楽しく動かすことができた。新聞の大きさや厚さ、しなやかさ、感触、紙質を自然と体感できたようである。また、とてもよい雰囲気、クラスの交流を深めることもできた。

4年生 国語 「新聞を作ろう」

(1) 《保護者アンケート》

「国体新聞」作成に向けて、各グループで作成した[国体に関するアンケート]を保護者の方に答えてもらおうと考えた。授業参観に来られた保護者の方々にあいさつ、お願い、お礼などのコミュニケーションがしっかりとれることもねらった。

児童は、普段話すことのない友達の保護者の方々に依頼することで、緊張感と責任感を持って活動できた。



(2) 《割り付け》

グループで話し合いながら割り付けを行い、新聞のイメージを完成させることをねらった。

実際に割り付けを行ってみると、記事の文字数が予想以上に多く、図や写真、グラフを入れると、壁新聞1枚では収まらない様子が見られた。そのため、その場でもう一度グループで文章を推敲させ、記事の行数を減らす

などして完成させることができた。

(3) 《感想の伝え合い》

他のグループの新聞を読み合い、進んで感想を伝え合うことをねらった。

児童は真剣に友達の記事を読み、付箋に感想を書いていた。また、記事を読んでいると、分からない言葉があると本人に質問するなどしながら内容を理解しようとする姿も見られた。



5 成果と課題

「物としての新聞」「記事としての新聞」「新聞作り」をNIEと捉えて実践を進め、児童も意欲的に取り組んでいる。様々な活動を通して「伝える」ことも行っているが、考えに深まりが足りないと感じることも多い。これからも、多くの活動を通して、深く考えて「伝える」ことができるよう支援していきたい。